

栃木県外国人住民数現況調査結果（概要）（令和6（2024）年12月31日現在）について

令和7（2025）年3月27日
生活文化スポーツ部県民協働推進課

1 調査目的

本調査は、県内に在住する外国人住民の状況を把握し、県施策等における基礎資料とするものである。

2 調査方法及び調査時点

令和6年（2024）12月31日現在の住民基本台帳に基づく外国人住民数について、各市町の協力を得て国籍・地域別、在留資格別に集計。

3 調査対象

住民基本台帳法が適用される外国人は、次のとおり。

- ①中長期在留者（3月以下の在留期間が決定された者、短期滞在、外交又は公用の在留資格が決定された者、法務省令で定める者以外の外国人）
- ②特別永住者
- ③一時庇護許可者又は仮滞在許可者
- ④出生による経過滞在者又は国籍喪失による経過滞在者

4 結果（概要）

（1）外国人住民数等

- 外国人住民数は55,762人（前年49,843人）。前年から5,919人増加し、過去最多となり、国籍・地域数は、116か国・地域に及ぶ。
- 対前年増加率は11.88%で、前年の11.40%から0.48ポイントの増。
- 県人口※に占める外国人住民数の割合は2.93%で、前年の2.60%から0.33ポイントの増。*県人口：1,904,173人〔令和6（2024）年12月末日現在 県市町村課調べ〕

（2）国籍・地域別

- 国籍・地域別住民数の上位5か国は次のとおり。4位と5位に変動あり。4位がインドネシア（前年6位）、5位がネパール（前年7位）となった。増減数が最も多かった国籍・地域はネパール（1,260人の増。前年の約2倍）で、次がベトナム（1,192人の増）となっている。

栃 木 県							【参考】 全 国		
R 6. 12月末				R 5. 12月末			R 6. 6月末		
国籍・地域名	住民数	増減数	構成比	国籍・地域名	住民数	構成比	国籍・地域名	住民数	構成比
ベトナム	11,474人	1,192人	20.6% 	ベトナム	10,282人	20.6%	中国	844,187人	23.5%
中国	6,273人	137人	11.2% 	中国	6,136人	12.3%	ベトナム	600,348人	16.7%
フィリピン	5,538人	223人	9.9% 	フィリピン	5,315人	10.7%	韓国	411,043人	11.5%
インドネシア	3,880人	861人	7.0% 	ブラジル	3,876人	7.8%	フィリピン	332,293人	9.3%
ネパール	3,832人	1,260人	6.9% 	ペルー	3,095人	6.2%	ブラジル	212,325人	5.9%

(3) 市町別

①外国人住民数の多い市町（上位5位）

市町名	R 6. 12月末(a)		R 5. 12月末(b)		増減 (a)-(b)	
	住民数	構成比	住民数	構成比	住民数	構成比
宇都宮市	12,357人	22.2%	10,797人	21.7%	1,560人	0.5
小山市	8,292人	14.9%	7,620人	15.3%	672人	▲ 0.4
足利市	6,624人	11.9%	5,604人	11.2%	1,020人	0.7
栃木市	5,449人	9.8%	4,973人	10.0%	476人	▲ 0.2
真岡市	4,393人	7.9%	4,148人	8.3%	245人	▲ 0.4

- 外国人住民数の多い市町（上位5位）の順位に変動はなく、また上位5市とも増加している。
- 特に、足利市では前年に比べ18.2%増、宇都宮市は14.4%増となっている。

②外国人住民の割合が高い市町（上位5位）

市町名	R 6. 12月末(a)	R 5. 12月末 (b)	増減 (a)-(b)
真岡市	5.61%	5.25%	0.36
小山市	4.97%	4.56%	0.41
足利市	4.73%	3.97%	0.76
栃木市	3.56%	3.22%	0.34
佐野市	3.19%	2.85%	0.34

- 外国人住民の割合の高い市町（上位5位）の順位に変動はなく、また、各市の人口に占める外国人住民の割合が高くなっている。

(4) 在留資格別（上位5資格）

栃 木 県						【参考】 全 国		
R 6. 12月末			R 5. 12月末			R 6. 6月末		
在留資格	住民数	構成比	在留資格	住民数	構成比	在留資格	住民数	構成比
永住者	14,057人	25.2%	永住者	14,150人	28.4%	永住者	902,203人	25.1%
技能実習	9,014人	16.2%	技能実習	8,374人	16.8%	技能実習	425,714人	11.9%
技術・人技能・国際業務	6,476人	11.6%	技術・人技能・国際業務	5,122人	10.3%	技術・人技能・国際業務	394,295人	11.0%
特定技能	5,120人	9.2%	定住者	4,207人	8.4%	留学	368,589人	10.3%
家族滞在	4,615人	8.3%	家族滞在	3,902人	7.8%	家族滞在	283,204人	7.9%

- 在留資格別の住民数は、永住者が最も多く、全体の1/4を占めるが、前年より減少。
- また、特定技能の在留資格者は、前年から34.1%増の5,120人となり、また家族滞在の在留資格者も増えている状況。

(5) 地域別（上位3地域）

地域名	R 6. 12月末		R 5. 12月末		増減数 (a)-(b)
	住民数(a)	構成比	住民数(b)	構成比	
アジア地域	46,830人	84.0%	40,678人	81.6%	6,152人
南米地域	7,410人	13.3%	7,597人	15.2%	▲187人
北米地域	606人	1.1%	690人	1.4%	▲84人

- 地域別の構成比では、アジア地域の割合が前年と比べ、2.4ポイント増となっている。

※構成比：県内全外国人住民数に占める各項目の外国人住民数の割合